



2024年1月15日

各 位

会 社 名 株式会社くろがね工作所
代表者名 代表取締役社長 田中 成典
(コード：7997、東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理本部長 森 吉武
(TEL. 06-6538-1010)

特別利益及び特別損失の発生並びに通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2023年11月期（2022年12月1日～2023年11月30日）において、下記のとおり特別利益及び特別損失を計上いたしました。また、2023年7月18日に公表しました2023年11月期（2022年12月1日～2023年11月30日）の連結通期業績予想および個別通期業績予想と本日公表の同実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 特別利益及び特別損失の発生

2023年3月30日に開示しております「固定資産の譲渡及び特別利益の計上見込みに関するお知らせ」に記載のとおり、資産生産性の向上を図るとともに、有利子負債の圧縮による財務面の改善ならびに設備投資資金の捻出を図るため、弊社京都工場（京都府八幡市）の土地・建物を譲渡することとし、11月末日において引き渡し及び決済が完了しました。この譲渡により固定資産売却益1,620百万円を計上しております。また、これに伴い当社グループの生産拠点を弊社津工場（三重県津市）に集約し、津工場のスペースの有効活用及び業務統合等による生産効率の向上を図るため、工場レイアウト・在庫等の再整備を行ったことから、工場集約関連費用（特別損失）1億19百万円を計上しております。

2. 業績予想の修正について

(1) 連結業績

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,440	△80	△90	1,120	657円48銭
実績値 (B)	7,180	△139	△178	1,214	713円11銭
増減額 (B-A)	△259	△59	△88	94	
増減率 (%)	△3.5	—	—	8.5	
(参考)前期実績 (2022年11月期)	6,920	△260	△265	△566	△332円28銭

(2) 個別業績

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,400	△110	1,100	645円74銭
実績値 (B)	7,195	△150	1,227	720円75銭
増減額 (B-A)	△204	△40	127	
増減率 (%)	△2.8	—	11.6	
(参考)前期実績 (2022年11月期)	6,880	△270	△564	△331円67銭

(2) 通期業績予想数値と実績の差異の理由

2023年11月期の連結業績につきましては、事務用家具部門において首都圏における引き合い、受注件数が伸長したことに加え、板金メーカーとしての特注品の生産・販売についても受注、売上が拡大しましたが、連結会計年度末にかけて大型案件の納入期限延期が重なったことにより売上高については発表予想より減少しました。一方、新規受注案件における価格転嫁が徐々に進捗したことにより案件ごとの利益率は改善しました。また、キャッシュ・フローを改善するために、回転期間の長い製品について1億15百万円の製品廃棄及び製品評価損の計上を行ったことから売上原価が増加しました。販売費及び一般管理費については、不採算事業の縮小を含めた人件費の削減及び効率的な物流体制を推進するとともに、その他固定費の削減にも継続的に取り組んだ結果、計画比で9.2%減少しましたが、上記製品廃棄及び製品評価損の計上により営業損失は1億39百万円となり前回公表予想より59百万円の減益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、当社グループの生産拠点の集約に伴う津工場の再整備費用等が当初想定より圧縮することが出来たこと及び法人税等調整額(益)が増加したこと等により増加しました。

以 上